

知っていますか？ 日本の文学賞

「文学賞」とは、優れた文学作品に贈られる賞のこと。歴史のある賞から最近話題の賞、実績のある人に贈られる賞から期待の新人に贈られる賞など、様々な賞があります。——誰でも知っている「芥川賞」や「直木賞」ってどんな賞？今回は日本の小説を対象とした「文学賞」について紹介します。(2010年9月現在)

あくたがわりゅうのすけ

●芥川龍之介賞(芥川賞)●

主催：(財)日本文学振興会(文藝春秋社内)

発表：年2回【上半期】7月【下半期】1月

正賞：懐中時計 副賞：賞金 100万円

対象：新進作家による発表済みの短編純文学(非公募)

特徴：文藝春秋社を創業した菊池寛が、友人である芥川龍之介の功績を記念して1935年に創設した。まず5、6作品が最終候補に選ばれ、選考会で受賞作品が決まる。受賞作は『文藝春秋』に掲載される。2005年中村文則、2007年諏訪哲史と愛知県出身の作家が立て続けに受賞して話題となった。

Pick Up



【第138回受賞作】
『乳と卵』川上未映子/著
(文藝春秋2008)

【主な受賞作】

- 第28回(1952)『或る「小倉日記」伝』松本清張
- 第34回(1955)『太陽の季節』石原慎太郎
- ★第120回(1998)『日蝕』平野啓一郎
- 第130回(2003)『蹴りたい背中』綿矢りさ

な お き さ ん し ゅ う こ

●直木三十五賞(直木賞)●

主催：(財)日本文学振興会(文藝春秋社内)

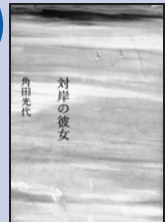
発表：年2回【上半期】7月【下半期】1月

正賞：懐中時計 副賞：賞金 100万円

対象：無名・新進・中堅作家による発表済みの大衆小説(非公募)

特徴：芥川賞と同様に菊池寛が友人の直木三十五の功績を記念して1935年に創設した。受賞作は『オール讀物』に掲載される。直木三十五は昭和初期に活躍した大衆作家。31歳の頃に筆名を「直木三十一」にしてから、年を重ねるごとに「三十二、三十三…」と変えていき、最終的に「三十五」に落ち着いた。

Pick Up



【第132回受賞作】
『対岸の彼女』角田光代/著
(文藝春秋2004)

【主な受賞作】

- 第39回(1958)『花のれん』山崎豊子
- 第43回(1960)『錯乱』池波正太郎
- 第69回(1973)『暗殺の年輪』藤沢周平
- ★第105回(1991)『夏姫春秋』宮城谷昌光